

はだの市民が創る男女共同社会推進会議 からのお知らせ

1 まずは、自己紹介

行政と連携し、男女共同参画社会を実現するための市民推進組織として、平成5年に発足した団体です。

2 男女共同参画社会とは

男女がお互いに尊重し、責任も分かち合い、その個性と能力を十分に発揮することができる社会です。

3 平成20年度の主な活動内容



男女共同社会フォーラム 2008 開催

「大阪おかの
夢はあきらめたらいかん!」
講師：露の都さん
(女性落語家第1号)
パワーと笑いに満ちた
明るく楽しい
講演会でした。



男女共同参画社会づくりに向けての
全国会議に出席 (日比谷公会堂)



男女共同参画週間に合わせた啓発活動を実施
(ジャスコ秦野店店頭)

4 今後の活動予定

- 10 / 17 「日本女性会議 2008 とやま」への参加
- 10 / 25 男女共同参画フォーラム、DV防止・人権啓発シンポジウムへの参加
- 11 / 3 市民の日でのアンケート調査&焼きそば販売
- 1 / 17 公開学習会&啓発活動

『公開学習会』なでしこ防災ネットとの コラボ開催！ 予告

テーマは、「女性と防災」。

これまでの災害経験から、女性の視点で防災を考えます。

- と き：平成21年1月17日(土)
- と ころ：秦野市文化会館(小ホール)



女性相談室のご案内

夫婦や家族の問題、生き方、夫やパートナーからの暴力(DV)などで悩んでいますか？ ひとりで悩まず、まずは一度ご相談ください。

～費用は無料・秘密は厳守します～

- 相談日：毎月 第2・第3・第4火曜日、第2土曜日
- 相談時間：午前10時～正午、午後1時～3時
- 相談方法：
 - ①電話相談：相談時間内に直接お電話ください。【専用電話】0463(83)1812
 - ②面接相談：前日までにお申込みください。【予約電話】0463(82)5118
- 問合せ先：秦野市役所 市民自治振興課(本庁舎3階)
電話 0463(82)5118

編集 後記

古谷市長、ごめんなさい。個人としての古谷市長に関心があった訳ではなく、市長の男女共同参画社会実現に向けた考えに共感があったのです。でも、お話を聞いて安心しました。トップの行動は組織全体を象徴的に表します。秦野市民の男女共同参画運動は、「考える」段階から「行動する」段階に進むでしょう。リニューアル特集号いかがでしたか？皆様のご意見をお待ちしています。

知ってる? 「パパ検」

世間ではクイズ番組が大流行。

ところで、「パパ検定」や「家事検定」なるものがあるのを知っていますか？

男性が自発的に、愉快地に、育児や家族と関わるためには、強い決心と人生のギアチェンジが必要です。

「パパ検」とは、父親が自ら主体的に育児に関わりたいという思いを形にし、そのキッカケになるものらしい。乳幼児期の育児情報や育休や児童手当などの制度に関することなど、父親が子育てをする上で知っておいた方がいい情報が設問になっている。

一方、「家事検定」とは、家事の根底にある伝統や知恵、論理的な側面、その奥深さ、面白さ、愛情に触れ、家事の大切さに気づきを与えるものらしい。興味のある方は下記のサイトへアクセスしてみてください。

パパ検定 <http://www.kentei-uketsuke.com/papaken.html>

家事検定 <http://www.kaji-ken.jp/>



誰でも作れる簡単レシピ

大和いもの梅肉マヨネーズ

材料(4人分)

大和いも	160g
しめじ(1パック)	100g
ぎんなん水煮(缶詰)	16粒
A 〔マヨネーズ〕	大さじ3
梅肉	小さじ2



作り方

- ①大和いもは、長さ3cm、厚さ5mmほどの棒状に切り、酢水にさらす。
- ②しめじは石づきを取り、さっとゆでる。
- ③ぎんなんは二つに切る。
- ④Aを合わせて①、②、③を和える。

母親の視点で考えられた防災グッズ

防災用品と聞いて何を思い浮かべますか。「非常持ち出し袋」という人も多いのではないのでしょうか。

それは、非常時にすぐに持ち出すことができますか？

そんな疑問から、日常でも利用でき、子どもでも持ち出すことができる非常持ち出し袋として作られたのが、3児の母でもある危機管理対策アドバイザーの国崎信江さんが発案した「防災ベスト」。

防災ベスト の メリット



- ①着ることで一体感があり、重さを感じない
- ②着ることによってからだを守る防護服になる
- ③秋や冬は寒さから守る防寒服になる
- ④ポケットに収納しているので防災グッズが取り出しやすい
- ⑤ハンガーにかけられるので場所をとらず、すぐに持ち出すことができる

背負うよりもからだへの負担がないので、子どもに限らずお年を召した方、体力のない方、体に障害のある方にも向いています。

この機会に、主婦、母の視点で、身近にあるもので非常時に活用できるものを考えてみよう。